



2016年度事業報告書 **ボラみみ**

特定非営利活動法人ボラみみより情報局

2015年10月1日から2016年9月30日まで

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人ボラみみより情報局は、「理念」「社会的役割」を達成するために、2009年度に作成した中長期マップをもとに、2016年度は「定款 第5条」の事業を実施しました。

理 念 自らの問題解決に取り組む地域社会をきずきます。

社会的役割 ボランティアをしたい人と必要としている人々をつなぎます。

ボランティア・NPO活動への理解と参画をひろげます。

定款 第5条 (1) ボランティア情報提供のための情報誌の編集および発行事業

(2) ボランティア情報提供のためのホームページの編集および運営事業

(3) ボランティアに関する調査研究および公開事業

(4) 収集したボランティア情報の公開および提供事業

(5) ボランティア活動の普及啓発事業

(6) ボランティア情報の提供、ボランティア団体の広報などに関する支援事業

(7) 子どもの健全育成に関する支援、およびボランティア育成事業

(8) 災害救援に関する支援、およびボランティア育成事業

2 重点項目

ボラみみより情報局は、下記の4つの項目を重点的事業として位置づけて実施しました。

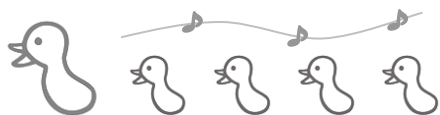
(1) 会員数の増加、寄付収入の増加

イベント会場での会員募集や、掲載団体への会員登録の依頼、寒中見舞いによる取り組みなどを実施してきました。会員数は153名で昨年度の156名と比べてほぼ横ばいでした。また、各チームで活動会員（ボランティアスタッフ）の募集も実施してきましたが、ボランティアスタッフは89名で昨年度の105名から減少しました。

ボランティアスタッフやインターンによる営業活動を通して募金箱設置を促進してきました。新たに5か所に募金箱を設置することができました。設置箇所数は、52か所で、昨年度の57か所から減少しました。2月～4月、7月～9月に回収を行ったところ126,849円の募金があり、昨年度の133,333円にはわずかながら届きませんでした。

(2) 協働連携による情報誌の発行

「月刊ボラみみ」は、2012年7月号より名古屋市市民活動推進センターの情報誌「なごや市民活動通信」と合冊での発行が始まり、2015年度も継続して実施しました。市民にとって有益な情報誌にするため他の組織との合冊発行も目指していますが、今年度は他組織への声掛けは行えませんでした。





(3) 協働連携によるボランティア促進事業の展開

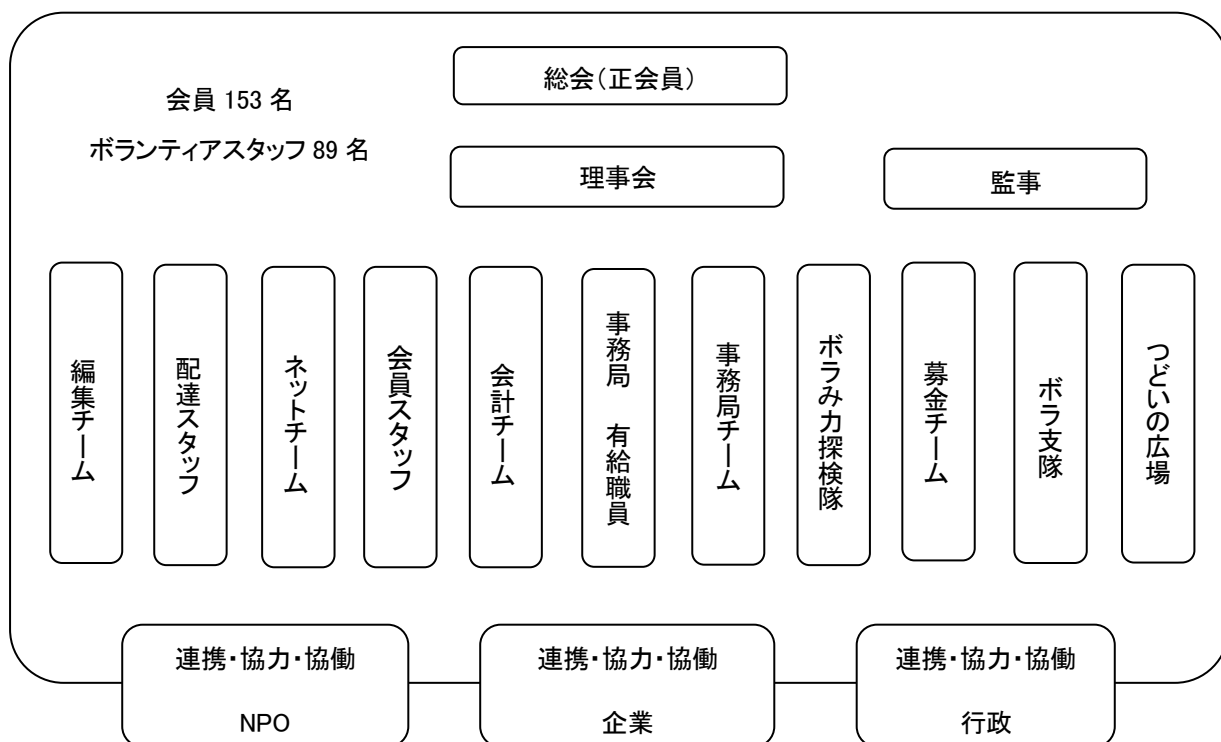
ボランティア交流イベント開催運営業務を受託して、ボランティアを促進する 16 の組織と協働連携して、ボランティアマッチングイベント「ぼらマッチ！なごや」に取り組むことができました。

(4) 協働連携による物資提供事業

4 団体の組織や 5 人の個人から物資を寄贈いただき、69 団体へ物資を寄贈しました。また、今年度は 4 月 14 日に熊本地震があったため、被災された少年野球チームにグラブやスパイクなどの野球道具を寄贈しました。郵送にかかる費用は寄付を集めることで、実施することができました。

3 組織体制

事業を実行するにあたり、ボランティアスタッフが力を最大限に発揮できるよう、事務局体制の強化を図るため、引き続き、週 1 日～2 日・3 時間以上定期的に参加できるボランティアの募集を行いました。配達チームと会計チームで微増しましたが、減少したチームもあり、全体としてスタッフ数は減少しました。





4 チーム報告

ボラみみより情報局の活動は、多くのボランティアスタッフの活動によって支えられています。地域の人たちに提供する「月刊ボラみみ」やボランティアマッチングサイト「みみライン」など、さまざまな活動は、ボランティアスタッフの活躍なしでは成り立ちません。

ボラみみより情報局の組織の特徴は、89名のボランティアスタッフが実践で活躍していることにあります。全てのボランティアスタッフを紹介することはできませんが、ボランティアチームとボランティアスタッフの活躍を紹介します。

(1) 事務局チーム

主にみみライン情報審査を担当しました。分かりやすく矛盾がない募集情報か、参加費などの記載漏れがないかをHPなどと照合し、みみラインユーザーの立場になって、緻密に確認・修正作業をしました。団体様からのアンケートでは、「ボラみみのお陰でいいボランティアさんが見つかった」との声がありました。私自身もみみラインで応募した国際交流系NPOで語学ボランティアをし、「いい方に巡り合えた」と代表からとても感謝されました。

5月のウォーカソンでは、「なごやのボランティア史(仮称)編纂委員会キックオフイベント」の寄付金申請書の英訳もしました。希望金額の寄付金が頂けると嬉しいです。(八田さん)

書くことが好き！これにつきます。13年間あきずにいつもキョロキョロ周囲を見回しながらどういう言葉で表現しようかな、あれかこれか、思案するのが面白い。ある識者の言葉、『どんな生活をしていても世の中を知るきっかけは至る所にある。新聞も本も日常生活も本質をみよう意識すれば毎日驚く程刺激的になる』。これを頭に刻み込んで今日も行く、というわけです。

(「ピックアップ」担当・永田さん)

(2) 編集チーム

名古屋を離れてからは編集チームの主力にはなれていませんが、『ボラみみ』の誌面に載る記事の校正を時々担当させていただいています。毎回、書きたてホヤホヤの文章を読みながら、新しいボランティアの世界を知り、とても楽しく作業していると同時に、少しでも読者の皆さんに読みやすい文章になるよう心がけています。「情報を知ることが行動への一歩につながる」と信じて、今後もより良い誌面作りに貢献していきたいです。(牧さん)



編集会議の様子



毎年8月には納涼会を兼ねて会議をします





(3) 配達スタッフ

チームとしては、最多の 44 名のスタッフが毎月『ボラみみ』を配達しています。最近では愛知県インターンの活躍もあり、事務所近辺（栄・伏見・丸の内あたり）の配布先が増えました。まだまだスタッフ募集中です。（事務局・佐原）



配達スタッフとして活動を始めて、数年経ちました。現在、自宅近場の 7 箇所を担当しています。月末の週間天気予報を参考にし、ウォーキングを兼ねて配達します。配達先で「ありがとう」、「ご苦労さま」と感謝され、健康にもいい、そしてボランティアできる。一石二鳥ならぬ一石三鳥。こう考えるとこんなにありがたいボランティアはありません。よく行く先々で、さりげなく『ボラみみ』が設置されているのを見るにつけ、ここにも仲間が来ているのだとなぜかうれしく思います。

発送作業も手伝わせていただいています。読者の方に先駆け、内容もさることながら、毎号表紙のイラストを見ながら、どこだろうと推測するのも楽しみです。ちなみに 2016 年 11 月号は、ビールに酢にきつね。醸造蔵と新美南吉の「ごんぎつね」から半田市でした。（小倉さん）

(4) ネットチーム

ホームページ「ボラみみ.com」の管理などを行っています。現在のメンバーは 4 名です。

主に「月刊ボラみみ」の特集や連載記事を「ボラみみ.com」上に公開しています。誌面データを PDF 形式で掲載し、時差はありますが、パソコンやスマートフォンなどでバックナンバーをまとめて読めるようになりました。

今期はボラみみ.com のサーバー移転作業も行いました。

また、ネットチーム会議を 11 回(毎月 1 回)行いました。

ホームページのデザインを更新して携帯機器などに対応できるよう、新しい人がほしいと思っています。（緑川さん）

(5) 会計チーム

現在は、谷さん・藤井さんの 2 名が会計伝票のパソコンへの入力、入力データの確認、伝票整理とファイリングの作業を実施しています。データの最終確認や財務諸表などの作成は西原さんが、決算書類の作成などは田中さんが実施されています。それぞれ作業できる時間がバラバラで、なかなか顔を合わせる機会はありませんが、メールなどで連絡を取り合い作業を進めています。織田さんに見守られて、のびのびとっても仲良し会計チーム。（谷さん&事務局・佐原）





(6) ボラみみ力探検隊

毎年恒例になった「ぼらマッチ！なごや」や「ぼらチャリ」などのイベントのブース出展のときに活動しました。なかなか全員が集まる機会はありませんが、各メンバーの都合のつくときに楽しみながら活動しています。毎年恒例になった課外活動も継続しています。

これまでのメンバーはすっかり定着し、楽しんで活動しています。昨年度からの課題でもある新規会員の獲得には取り組めていません。来年度こそは新しいことにもチャレンジしたいところですが、とりあえず課外活動を充実させることくらいはできるかも？（宇都宮さん）



イベントでは「ボランティアすごろく」などを
して、活動をPRしました



食事会や野球観戦などの「課外活動」も

(7) 募金チーム

募金チームは不定期ですがミーティングをしています。毎回色々なアイデアが出て、それをひとつひとつ実行しています。例えばインターンさんに事務所近くのお店の開拓に出てもらったり、「みみ通信」を通じて呼びかけをしたりといった具合です。皆さま行きつけのお店などで募金箱を置いていただけたところがありましたら、事務局まで連絡をいただけるとありがたいと思います。（山本さん）

私の募金箱設置方法をご紹介します。まず、自分が顧客として利用している個人事業主のお店のオーナーさんと自然と仲良くなり、オーナーさんから私の仕事について質問されたタイミングで、ボラみみの名刺をお渡しすると、ボラみみに興味を持たれ質問されます。そのタイミングで『ボラみみ』設置と募金箱設置をお願いしています。2月には、藤が丘の「みちくさファームカフェ」で『ボラみみ』の設置と募金箱の設置に成功しました。オーナーさんは、すでにボラみみのことをご存知で、自らも震災支援などのボランティア活動を継続されている方で、即快諾を頂きました。（八田さん）





(8) 会員スタッフ

会員登録された方の情報のデータベースへの入力、月 1 回、会員宛てに『ボラみみ』等を発送する下準備（宛て名ラベル・更新案内・会員登録お礼状作成など）、3 ヶ月に 1 回、ニュースレター「みみ通信」の印刷・紙折作業などの仕事をしています。ボラみみと会員の皆さまとの関係が、できるだけ円滑に進むよう心がけています。（島崎さん）

年 4 回会員向けに発行している「みみ通信」の校正を担当しています。活動報告やスタッフのコラム、インタビューなど、ボラみみの事業や普段の活動、各チームの様子がよく分かる内容です。私自身は現在、ボラみみの活動に直接的には関わっていないので、客観的な視点で、分かりづらい部分、足りない情報に特に注意を払い、読みやすい文章を心がけています。ボラみみのことを会員の皆さまに知っていただく大事な媒体として、また、ボラみみを会員として応援したいと思って下さる方が少しでも増えるように、今後も事務局と協力して作成していきます。（牧さん）

ニュースレター「みみ通信」を担当しています。全体を通してスペースを多くとり、見やすく、読みやすいレイアウトを心がけています。

また、皆さんが忙しいなかで作業されているので、最小回数のやりとりでレイアウトや修正などをすることを目指しています。これまでの最短レコードは、2 ターンでした^^

そして、実は一番時間をかけているのが「4 コマ みみ劇場」です。ボラみみ内の出来事をおもしろおかしく描き、皆さんに楽しんでいただきたいと思います。気付けばもう 46 話…これからもお楽しみに。（冨田さん）

(9) ボラ支隊

ボラ支隊は、隊員がほとんど更新されず、入隊のニーズもないことから、9 月末日で解散しますが、献血 PR の活動については、あらたに献血チームとして活動を続けていきます。（塩谷さん）

2 ヶ月に 1 度、偶数月に大須万松寺献血ルームで献血推進の呼び掛け活動をしています。学生さんを中心とした若いボランティアメンバーが活動しており、活動日は若くて元気な声が大須商店街に響いており、とても活気ある楽しい雰囲気を作っています。また、呼び掛け活動のみならず、献血が可能なメンバーには積極的に献血してもらっています。最近はボランティアメンバーが不足していますので、献血に関心のある方を募集中です。（大森さん）

※ボラ支隊は、2016 年 9 月末をもって解散し、新たに「献血チーム」が発足しました。





5 事業の実施に関する事項

理念、社会的役割を実現するため、以下の事業を実施しました。

(1) ボランティア情報提供のための情報誌の編集および発行事業（定款第5条第1号）

①ボランティア情報誌「月刊 ボラみみ」編集・発行・配布

対 象：ボランティアをしたい読者、延べ84,000人（年間発行部数の70%）

実施内容：ボランティア団体および個人からボランティア募集情報や市民活動に関するイベント情報を収集し、無料の情報誌を発行した。

発行回数：年11回 毎月1日に発行（1月・2月は合併号）

仕 様：B5版 モノクロ 16～20ページ+4ページ（なごや市民活動通信） 11,000部

対象地域：名古屋市を中心とした愛知県下のスーパーや学校、公共機関など、740箇所に配布（前年度実績730箇所）

担 当：編集チーム、事務局チーム、配達ボランティア、みみラインシステム担当、事務局

評 価：ボランティア情報216件（前年度実績218件）

情報提供している既存の媒体は継続して実施した。誌面の内容では、特集をはじめとする取材記事の充実だけではなく、さまざまな市民活動、ボランティア活動の様子を活動者自身の目線で伝える連載記事を充実させた。

号数	特集・連載記事内容	情報の件数
10月号	ボラみみより情報局設立15周年記念講演 対談 佐藤和夫氏×織田元樹『『人を大切にできる社会』を目指して』 連載「Go!Go!ボランティア」第9回『ぱんだが行く!』	ボランティア 18件
11月号	特集「作業所に訪れる人たちに温かい料理と笑顔を『守山つくしの会』」 特集「1/6の子どもたち」第5回『誰もが共に生きられる、地域の学習支援』 特集「企業の社会貢献活動の現場から『名古屋テレビ塔株式会社』」 新団体紹介「特定非営利活動法人エルロン」	ボランティア 18件
12月号	特集『『言葉を学びたい、だれかと通じ合いたい』そんな願いを叶えるために『特定非営利活動法人名古屋ろう国際センター』』 特集『『中国の貴州』そこに桃源郷を見た『特定非営利活動法人日本貴州交誼協会』』 連載「Go!Go!ボランティア」第10回『あがたが行く!』	ボランティア 20件
1・2月 合併号	合併号特別企画「決定!! 第2回ボラみみアワード」 特集「NPOではたらく!」第4回 連載「1/6の子どもたち」第6回『支援を届けるため「リスク」と向き合う』 特集「企業の社会貢献活動の現場から『ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社』」 新団体紹介「特定非営利活動法人ひとつむぎ」	ボランティア 22件
3月号	連載「1/6の子どもたち」第7回『当事者が当事者を支える募金活動』 不定期連載「届けたい、今」No.6『名古屋学院大学社会連携センター』『生活協同組合コープあいち』 企業の社会貢献活動の現場から「株式会社NTTドコモ」 新団体紹介「ベトナムに理想の学び舎を!」	ボランティア 18件
4月号	特集「おしえて! ボランティアを続ける理由と秘訣!!」 特集「マルミのタイ訪問記『私にもできる。お買い物でカレン族を応援!』」 連載「Go!Go!ボランティア」第11回『ぼんじりが行く!』	ボランティア 20件





5月号	連載「1/6 の子どもたち」第8回『「おそなえもの」を「おすそわけ」。おやつの支援を通じて、子どもたちと縁を結び貧困問題に取り組む』 特集「マルミのタイ訪問記『優しさに触れる旅』」 企業の社会貢献活動の現場から「リゾートトラスト株式会社」 新団体紹介「特定非営利活動法人ル・スリール・ジャポン」	ボランティア 18件
6月号	特集「市民活動団体を応援する方法」 特集「切った髪の毛がだれかの役に立つ!？」 連載「Go!Go!ボランティア」第12回『さくらが行く!』	ボランティア 20件
7月号	連載「1/6 の子どもたち」第9回『「子ども」がセンター』 特集「流れるように踊る『車いすダンス名古屋ビバーチェ』」 企業の社会貢献活動の現場から「株式会社メニコン」 新団体紹介「特定非営利活動法人アスペディア”asupedia”」	ボランティア 20件
8月号	特集「外国人を『災害弱者』にしないために、今できることを始めよう!『災害時外国人支援ネットワーク愛知・名古屋』設立準備会」 連載「Go!Go!ボランティア」第13回『じゅんぞーが行く!』 特集「おさらい! ボランティア入門!」	ボランティア 20件
9月号	連載「1/6 の子どもたち」第10回『フィリピンにルーツをもつ子どもの貧困』 特集「子ども、お母さん、みんなが笑顔あふれる場所『名古屋市子ども・子育て支援センター 758 キッズステーション』」 企業の社会貢献活動の現場から「株式会社ノリタケカンパニーリミテド」 新団体紹介「特定非営利活動法人わかち・つむぎあい」	ボランティア 22件

(2) ボランティア情報提供のためのホームページの編集および運営事業（定款第5条第2号）

①「ボラみみ.com」及び「みみライン」の運営

対 象：愛知県、岐阜県、三重県のボランティア・NPO 活動に関心のある市民

実施内容：Web サイトにおいて収集したボランティア情報・イベント情報を公開する。ホームページの情報の管理・更新を行う。また、個人ボランティア登録により、個別にボランティア・イベント情報の配信を実施する。

更新回数：随時

担 当：ネットチーム、事務局チーム、みみラインシステム担当、事務局

評 価：情報アクセス年間 247,315 件（前年度実績 364,537 件）

個人登録 延べ 3,771 件（昨年 3,545 件）

②「みみライン」システム提供（自主事業）

対 象：ボランティア・NPO センター、企業や大学のボランティアセンターなど

実施内容：「みみライン」システムの導入

担 当：みみラインシステム担当、事務局

評 価：19 組織に対し「みみライン」システムを提供。

(3) ボランティアに関する調査研究および公開事業（定款第5条第3号）

①「月刊ボラみみ」掲載団体へボランティア参加情報のアンケート調査・分析（11 回）

②「みみライン」のアクセス数や利用情報の調査・分析（日次、週次、月次）





③サイトのアンケートフォームによる調査・分析（随時）

担 当：事務局チーム、事務局

対 象：掲載団体

実施内容：ボランティア活動に関する参加継続状況の各種調査・分析。

誌面掲載団体アンケート年間 11 回、みみライン掲載アンケート（随時）

●Web 掲載状況（2015 年 10 月 1 日～2016 年 9 月 30 日）

ボランティア情報投稿数 664 件／年

ボランティア情報アクセス数 199,700 件／年

イベント情報投稿数 420 件／年

イベント情報アクセス数 47,615 件／年

●アンケートの回答状況（2015 年 10 月 1 日～2016 年 9 月 30 日）

アンケート回答総数 403 件

問い合わせ件数 合計 563 件（問合せあり 183 件・なし 149 件・わからない 43 件）

参加人数 合計 530 名（参加あり 145 件・なし 165 件・わからない 55 件）

<内訳>

●web（みみライン）にのみ掲載した情報の参加状況（イベント含む）

アンケート回答件数 309 件

問い合わせ件数 255 件

参加人数 248 名

●誌面掲載情報のボランティア参加状況（2015 年 9 月号～2016 年 8 月号）

※ただし、2016 年 8 月号は集計途中。

誌面への情報掲載数 214 件

アンケート回答件数 84 件

アンケート回収率 43.3%

問い合わせ件数 271 件

参加人数 242 名

※誌面掲載団体へのアンケートは、掲載から約 1 ヶ月後に FAX やメールで調査しています。

そのため、掲載 1 ヶ月以降に参加した場合は統計に反映されません。





ボラみみ誌面掲載団体 アンケート集計表 <2015年9月号～2016年8月号※2016年8月号はアンケート回収途中>

項目		2015年					2016年						計	
		8月号以前	9月号	10月号	11月号	12月号	1・2月号	3月号	4月号	5月号	6月号	7月号		8月号
掲載数			20	18	18	20	22	18	20	18	20	20	20	214
アンケート回答数		8	6	10	11	8	13	9	7	3	7	8	2	92
問合せ数	誌面	16	7	9	10	11	11	8	3	2	2	4	2	85
	ホームページ	11	4	4	14	12	24	7	4	4	18	3	1	106
	いずれか不明	10	7	1	3	4	9	7	1	4	17	51	3	117
	合計	37	18	14	27	27	44	22	8	10	37	58	6	308
参加者数		40	16	11	15	37	35	13	6	4	25	78	2	282

★2015年9月号～2016年7月号のアンケート回答率:43.3%

(4) 収集したボランティア情報の公開および提供事業（定款第5条第4号）

①ボランティア・イベント情報の提供

対 象：企業の社会貢献担当部署や行政の市民活動担当部署

実施内容：広くボランティア・イベント情報を提供していくことを目的に、収集したボランティア活動・NPO活動に関する情報を、必要に応じ加工して提供した。

担 当：事務局

評 価：申込者数が徐々に増えており、サイトが広く知られ利用されてきている。

期間	企業名	内容
2015年10月～2016年9月	トヨタグループ9社	スマイルゆうネットへの情報提供

(5) ボランティア活動の普及啓発事業（定款第5条第5号）

①ボラ支隊

対 象：ボランティアをしたい個人、ボランティアを必要としている団体

実施内容：ボランティア活動を始めたいけど、一人ではちょっと参加しづらい人を集めて、一緒に仲間として活動に参加するチームで、なかなかボランティアを集められない団体からの依頼を受けて、ボランティアとして参加する。

活動日	内容	活動場所
2015年10月25日(日)	献血PR活動	大須万松寺献血ルーム
10月10日(土)	地域のお祭り	瑞穂区
12月19日(土)	クリスマス会	中区社会福祉協議会
12月19日(日)	献血PR活動	大須万松寺献血ルーム
2016年1月3日(日)	ボラ初め	熱田区
2月27日(土)	献血PR活動	大須万松寺献血ルーム
3月5日(土)	こどもまつり準備	瑞穂生涯学習センター
3月6日(日)	こどもまつり	瑞穂生涯学習センター
3月20日(日)	こどもタウン	港生涯学習センター





3月27日(日)	ぐるりんウォーキング	熱田区
4月2日(土)	花萌 Fes	熱田区
4月16日(土)	堀川一斉大そうじ	熱田区
4月17日(日)	献血 PR 活動	大須万松寺献血ルーム
6月4日(土)	堀川宵まつり	熱田区
6月5日(日)	堀川本まつり	熱田区
6月26日(日)	献血 PR 活動	大須万松寺献血ルーム
8月4日(木)	お化け屋敷準備	瑞穂区
8月6日(土)	お化け屋敷	瑞穂区
8月20日(土)	献血 PR 活動	大須万松寺献血ルーム
8月19日(金)	盆まつり準備	熱田区
8月20日(土)	盆まつり	熱田区
9月3日(土)	あったかカーニバル	熱田区
9月10日(土)	堀川一斉清掃	熱田区

評価：活動日数はのべ23日（前年実績38日）で日数は減ったものの、前年に引き続き定期的に活動することができた。しかし、説明会を計画するも申込者ほぼ0である。
ボラ支隊を解散し、街頭活動チーム（献血の呼びかけや街頭募金など屋外での活動に特化したチーム）を作ることが、活動内容も分かりやすく、得策かと思われる。

②講師派遣

対象：愛知県、岐阜県、三重県民

実施内容：ボランティア・NPO 活動の普及啓発を目的に、ボランティア活動などに関するイベント等への講師派遣を実施した。

担当：事務局

派遣日	講座テーマ	派遣先
2015年10月2日(土)	NPOマネジメントスクール「プロジェクトマネジメント」	愛知県県民生活部社会活動推進課
10月17日(土)	ボランティアコーディネーター研修「人が集まる募集の仕方」	名古屋市市民活動推進センター
10月24日(土)	ボランティアコーディネーター研修「長続きする受け入れ方」	名古屋市市民活動推進センター
10月30日(金)	NPOと行政とのテーマ別意見交換会「防犯ボランティアへの参加促進を図るための取組について」	愛知県県民生活部社会活動推進課
11月11日(水)	地域支えあい活動人材養成講座 ステップアップ編「広報力を高める」	名古屋市社会福祉協議会
12月1日(火)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」	愛知県社会福祉協議会
2016年1月16日(土)	「人材獲得講座～モテる団体を作るヒントを教えます！～」	豊明市市民協働課





1月30日(土)	助成金中間報告会	尾張旭市
2月13日(土)	次世代の NGO を育てる、コミュニティカレッジ 2015(通称:N たま)修了式	名古屋 NGO センター
2月27日(土)	安城市で活躍する人たちの交流会	安城市市民活動センター
4月27日(水)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」	愛知県社会福祉協議会
5月11日(水)	サービスマーケティング実習(地域連携コース)「ボランティア講座」	愛知学院大学
5月18日(水)		
5月28日(土)	ボランティアコーディネーター研修「120%活躍できる!ボランティアの受け入れ方」	名古屋市市民活動推進センター
6月3日(金)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」	愛知県社会福祉協議会
7月13日(水)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」	愛知県社会福祉協議会
7月13日(水)	ボランティアの社会的な意義	名古屋市青少年交流プラザ(ユースクエア)
7月29日(金)	ボランティアコーディネーター研修「情報の収集・整理・提供」	愛知県社会福祉協議会
8月20日(土)	ボランティア&コーディネート研修	社会福祉法人ゆたか福祉会あかつき共同作業所
9月4日(日)	次世代の NGO を育てる、コミュニティカレッジ 2016(通称:N たま)「企画づくりとは」	名古屋 NGO センター
9月10日(土)	ボランティアコーディネーター研修「120%活躍できる!ボランティアの受け入れ方」	名古屋市市民活動推進センター
9月13日(火)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」	愛知県社会福祉協議会
9月15日(木)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」	愛知県社会福祉協議会
9月30日(金)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」	愛知県社会福祉協議会

評価 講師派遣回数 24 回 (前年実績 34 回) 参加者がスキルを身につけることができた。

③協働コーディネート等業務委託／ボランティア交流イベント開催運営事務委託 (委託事業)

テーマ: ボランティア活動の促進

対象: 名古屋市内在住・在学、在勤の学生・社会人 (働いている人、主婦、退職者など)

実施内容: 就職企業展のボランティア版のコンセプトで、ボランティアをしたい人とボランティアを求める団体の面談を行えるブース出展をメインに、体験コーナーを設けたボランティアマッチングイベント「ぼらマッチ! なごや」を 2015 年 11 月 14 日 (土) に「協働コーディネート等業務委託」として実施した。2016 年 6 月 25 日 (土) には、「ボランティア交流イベント開催運営事務委託」として「ぼらマッチ! なごや」を愛知大学で実施した。また、2016 年 9 月 28 日 (水) に、企業のボランティア促進をテーマに協働会議を実施した。

期間: 2015 年 4 月～2016 年 3 月、2016 年 4 月～2017 年 3 月

協働会議参加団体: 特定非営利活動法人名古屋 NGO センター、日本赤十字社愛知県支部、社会福祉法人





名古屋市社会福祉協議会、愛知大学 ボランティアセンター、愛知学院大学 地域連携センター、愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター、中京大学 学生支援課、同朋大学、名古屋学院大学 学生支援課、名城大学 ボランティア協議会、日本福祉大学 地域連携推進室、株式会社デンソー、ブラザー工業株式会社 コーポレートコミュニケーション部、名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア、公益財団法人名古屋国際センター、特定非営利活動法人ボラみみより情報局、名古屋市市民活動推進センター

評 価：2015 年度の出展団体、運営ボランティア含む全体で 580 名の参加があった。しかし、いち企画ブースへの参加のみで、団体ブースを回ることなく帰られた方が多数いたため、課題を残した。2016 年度は出展団体、運営ボランティア含む全体で 500 名の参加があった。前年度よりも参加者数は減ったものの、団体ブースを回る方が多くいたため、参加者が多く感じられた。

④名古屋市イーパーツリユース PC 寄贈プログラム（自主事業）

対 象：行政、NPO

実施内容：名古屋市と認定 NPO 法人イーパーツ、ボラみみより情報局との協働により、名古屋市内で市民活動を行っている団体で、予算などの諸事情により情報化が思うように進まない団体を対象にリユースパソコンを提供する事業を実施した。

期 間：2015 年 9 月～2015 年 12 月（第 4 回）、2016 年 9 月～2017 年 1 月（第 5 回）

担 当：事務局

評 価：第 4 回のリユース PC 寄贈プログラムでは、リユースパソコン提供先の選定を行い、応募のあった 30 団体のうち 24 団体に対し、リユースパソコン 33 台を提供することができた。第 5 回については、事業途中のため 2017 年度に評価報告する。

⑥物資提供プログラム（自主事業）

対 象：市民活動団体

実施内容：株式会社大塚商会、特定非営利活動法人アルシュ（自立を支援する会）、個人などから事務用品などの物資の寄贈を受け、ボランティア団体、NPO、福祉施設など非営利組織へ寄贈した。

期 間：2015 年 10 月～2016 年 9 月

担 当：事務局、事務局チーム

評 価：株式会社大塚商会、特定非営利活動法人アルシュ（自立を支援する会）、個人数などから事務用品などの物資の寄贈を受け 2015 年 10 月、2016 年 2 月に累計 38 団体に対し、ノートやペンなどの事務用品、ティッシュや洗剤などの日用品を寄贈することができた。また、4 月には熊本の被災地の野球チームへグローブやウェアなどのスポーツ用品を送ることができた。





⑥ ボランティア・市民活動運営相談（委託事業）

特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズと共同事業体をつくり、名古屋市の「NPO アドバイザー事業」の委託を受けて、団体の立ち上げ・NPO 法人設立・運営などにおける一般相談業務、セミナーを実施している。

【NPO アドバイザー事業】（名古屋市）

対 象：NPO、企業、行政、個人

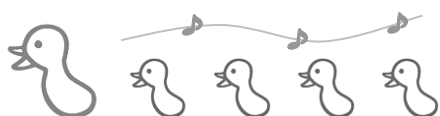
担 当：アドバイザー、事務局

協働団体：特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ

期 間：2015 年 5 月～2016 年 3 月、2016 年 4 月～2017 年 3 月

相談実績

実施月	実施日	コマ数	相談数
2015 年 10 月	14 日(水)、24 日(土)、29 日(木)	12 コマ	9 件
11 月	18 日(水)	2 コマ	2 件
12 月	1 日(火)、5 日(土)	8 コマ	6 件
2016 年 1 月	29 日(金)	4 コマ	2 件
2 月	2 日(火)、17 日(水)	8 コマ	5 件
3 月	18 日(金)	4 コマ	2 件
4 月	なし	0 コマ	0 件
5 月	5 日(祝)、8 日(日)、17 日(火)、20 日(金)、27 日(金)	17 コマ	17 件
6 月	1 日(水)、8 日(水)、	6 コマ	11 件
7 月	13 日(水)、28 日(水)	4 コマ	4 件
8 月	17 日(水)、31 日(水)	6 コマ	4 件
9 月	9 日(金)、21 日(水)、28 日(水)	11 コマ	6 件
合計		82 コマ	68 件





講座実績

実施日	テーマ	参加者数
2015 年 11 月 11 日(水)	NPO法人の労務「雇用契約から見る労務のイロハ」	16 名
2016 年 1 月 29 日(金)	NPO 法人の税務「NPOに関わる税金のしくみ」	22 名
3 月 18 日(金)	事業報告書等作成 「総会準備をはじめよう！事業報告書等作成講座」	30 名
5 月 17 日(火)	NPO 法人の組織の体制づくりと理事・幹事の役割	17 名
6 月 8 日(水)	NPO 法人会計基準のキホンと活動計画書の作り方	25 名
7 月 13 日(水)	NPO 法人運営の基礎知識	20 名
7 月 28 日(木)	NPO法人の税制優遇とその活用	14 名
8 月 31 日(水)	初めてのNPO運営 (活動立ち上げに必要な「ヒト・モノ・カネ」)	19 名

評価：稼働率は90%の目標に対して84%と目標には達しなかったが、相談者に実施したアンケート結果より「相談内容の満足」については、9割が満足と回答をし、高い満足度が確認できた。また各セミナーの開催も好評であった。2015 年 4 月以降は、事業期間中のため 2017 年度にて評価報告する。

【アドバイザー相談】（一宮市市民活動支援センター）

対象：NPO、企業、行政、個人

担当：事務局

実施月	実施日時
2015 年 10 月	3 日(土)15:00～20:00
11 月	7 日(土)15:00～20:00
12 月	5 日(土)15:00～20:00
2016 年 1 月	15 日(金)15:00～20:00
2 月	6 日(土)15:00～20:00
3 月	5 日(土)15:00～20:00
4 月	2 日(土)15:00～20:00
5 月	14 日(土)15:00～20:00
6 月	4 日(土)15:00～20:00
7 月	2 日(土)15:00～20:00
8 月	6 日(土)15:00～20:00
9 月	3 日(土)15:00～20:00

評価：予約による相談は少ないものの、1 件当たりの相談時間を長く取り丁寧に相談対応ができた。





【アドバイザー相談】(学生共同活動拠点 N-base (エヌ・ベース))

対 象：学生

担 当：事務局

実施月	実施日時
2016 年 8 月	25 日(木) 18:00～20:00
9 月	14 日(水) 18:00～20:00、29(木) 18:00～20:00

評 価：N-base が開所したばかりで 8 月・9 月についてはまだ具体的な相談はなかった。

⑦イベントへのブース出展等

対 象：ボランティアに関心のある市民

実施内容：社会福祉協議会や企業などが主催するイベントへブース出展し、ボラみみの広報、ボランティア相談、ボラみみグッズ販売を実施した。

担 当：ボラ支隊、ボラみみ探検隊、事務局

参加日	イベント名	主催	場所
2015 年 10 月 11 日(土)	愛知淑徳大学 CCC コラボメッセ	愛知淑徳大学	愛知淑徳大学
10 月 11 日(日)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュ太閤店
10 月 24 日(土)	ワールド・コラボ・フェスタ	ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会	オアシス 21 銀河の広場
11 月 11 日(水)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュ太閤店
11 月 14 日(土)	ぼらマッチ！なごや	名古屋市	愛知大学
12 月 6 日(日)	ぼらチャリ RUN	(公財)名古屋中法人会 / 名古屋市	庄内緑地公園
12 月 11 日(金)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)
2016 年 1 月 11 日(月)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュ太閤店
1 月 31 日(日)	ぼらチャリパーク	ぼらチャリ vol.4 開催委員会	ナディアパーク
2 月 11 日(木)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュ太閤店
4 月 10 日(日)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュ太閤店
4 月 11 日(日)			
5 月 11 日(水)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュ太閤店
5 月 22 日(日)	ウォーカソン	在日米商工会議所 / 名古屋国際学園	愛・地球博記念公園
6 月 11 日(土)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュ太閤店





6月25日(土)	ぼらマッチ！なごや	名古屋市/名古屋市 社会福祉協議会	愛知大学
7月3日(日)	デンソーグループハートフルまつり	(株)デンソー	デンソー本社
7月11日(月)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) ／マックスバリュ太閤店
8月11日(木)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) ／マックスバリュ太閤店
9月10日(土)	外国人留学生大交流会 in なごや	名古屋市	名古屋国際センター 別棟ホール
9月11日(日)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)

評価：実施回数 21 回（前年度実績 19 回）

ボラみみ力探検隊を中心に多くのボランティアの参加によりイベント参加ができた。
黄色いレシートキャンペーンに関しては、ボランティアスタッフ、インターンの協力を
得て、複数の店舗でPRに参加することができた。また、ブース出展できるイベント
に参加して、知名度アップにつなげることができた。今後は、ボランティアや会員、
「みみライン」の登録者増につなげていきたい。

⑧インターン受け入れ

対象：21 名（前年度実績 18 名）行政・大学等からの受け入れを実施

担当：事務局

名称	期間	受入元	人数
平成 27 年度 2 年目現場体験研修	2015 年 10 月	愛知県	5 名
平成 27 年度春季インターンシップ研修	2016 年 2 月～3 月	愛知淑徳大学	2 名
平成 28 年度 2 年目現場体験研修	7 月～9 月	愛知県	13 名
インターンシップ研修	9 月	名古屋大学	1 名

【インターンの感想】

この 10 日間でたくさんのボランティアの方々と出会うことができました。年齢も国籍も様々な方が作業をしている姿を見て人と人とのつながりを実感しました。

初日に受けた研修で、「ボランティアとは何か？」という問いについて考えました。また、「ボラみみ」の校正作業を行う中でいろいろな種類のボランティアに出会いました。ボランティア活動の裏には必ず社会問題が存在するという言葉を考えると、ボランティアの数だけ社会問題が存在しているということになります。普段生活している中で気にしていなかったことも、立場を変えると大変な問題であるということを理解する貴重な体験となりました。

短い期間でしたが、人と人とのつながりを活動の間だけでなく、お昼ご飯を食べている間の雑談などでも実感することができました。自分にできることは何かということを考え、これからの大学生活や就活などに活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

名古屋大学 福村真優（ボラみみブログより）





発送準備や配達など、いろいろな作業を通して、ボラみみは多くの方々が行動して、連携していくことで成り立っていて、本当にすごいと感じました。また、組織を運営していくにあたっての財源だとか、人手についても考えさせられました。

まだまだ余裕がなく、視野も狭い私ですが、自分の働く組織のこと、社会のこと、もっと周りに目を向けて、興味を持っていきたいと思います。5日間ありがとうございました。

愛知県職員 尾崎

評 価：インターンには『ボラみみ』の編集にかかわる作業、ボラみみの募金箱営業やイベントでの活動紹介などを体験してもらった。また、他団体と協働して実施している会議やプログラムにも、できるだけ参加してもらった。ボラみみの業務にかかわることで、「行政だけでは解決しきれない、手の届かない分野が数多くあり、そこを補うためのNPOとの協働が必要という意味を理解した」「NPOが社会の中でどんな役割を担っているのか、行政に求められるものは何かについて考えた」という感想があり、インターン受入に意義があった。

⑨各種委員会への参加

実施内容：名古屋市の「名古屋市民活動推進協議会」年1回（前年度実績2回）、「愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会」年3回（前年度実績3回）、そのほか委員会への参加依頼があった場合は、理事会の承認を得て参加・不参加を決めた。

担 当：事務局、理事

派遣日	委員会名	派遣先
2015年11月4日(水)	愛知県社協ボランティアセンター運営委員会	愛知県社会福祉協議会
11月6日(金)	地域福祉に関する懇談会	名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課／ 名古屋市社会福祉協議会
11月10日(金)	ぼらチャリ4～つながれ☆ひろがれ大作戦～ 企画運営委員会	名古屋市市民経済局地域振興部 市民活動推進センター
11月13日(金)	NPOと行政の協働に関する実務者会議	愛知県県民生活部社会活動推進課
2016年1月25日(月)	ぼらチャリ4～つながれ☆ひろがれ大作戦～ 企画運営委員会	名古屋市市民経済局地域振興部 市民活動推進センター
2月2日(火)	NPOと行政の協働に関する実務者会議	愛知県県民生活部社会活動推進課
2月16日(火)	愛知県社協ボランティアセンター運営委員会	愛知県社会福祉協議会
3月18日(金)	名古屋市民活動推進協議会	名古屋市市民経済局地域振興部 市民活動推進センター
3月18日(金)	ボランティア・市民活動推進部会	愛知県社会福祉協議会





3月23日(水)	ぼらチャリ 4～つながれ☆ひろがれ大作戦～ 企画運営委員会	名古屋市市民経済局地域振興部 市民活動推進センター
6月24日(金)	愛知県社協ボランティアセンター 運営委員会	愛知県社会福祉協議会
8月9日(火)	NPOと行政の協働に関する実務者会議	愛知県県民生活部社会活動推進課

評価：委員会に参加することで、さまざまなNPOの活動や行政の動きについて、知る機会が増え、また情報交換を行える場となった。また、NPOセクターとして、社会的に有用で実効性のある意見を述べることができた。

(6) ボランティア情報の提供、ボランティア団体の広報などに関する支援事業（定款第5条第6号）

①市民活動支援制度広告作成業務

対象：一宮市民

実施内容：一宮市の「市民が選ぶ市民活動支援制度」と選択届出期間の周知を図るため、新聞折込広告のデザイン及び印刷を行う。B4サイズ・両面カラー・113,000枚作成。

期間：2015年8月1日～2016年1月20日

評価：一宮市市民活動支援センターの担当者と協力しながら、新聞折込広告を作成した。また、チラシ用に作成した素材を他の媒体（フリーペーパーや新聞紙面広告）にも提供し、制度の周知に努めた。選択届出率は前年度の10.9%から11.5%にあがり、一定の効果があったと思われる。

(7) 子どもの健全育成に関する支援、およびボランティア育成事業（定款第5条第7号）

①なごやつどいの広場事業（補助金事業）

子育て家族とそれを応援したいボランティアとの架け橋になることをめざし、なごやつどいの広場事業補助金を受けて、名古屋市瑞穂区に「ボラみみより情報ステーション」を開設し、つどいの広場を運営している。

対象：ボランティアをしたい個人、子育て中の親子

実施内容：子育てボランティアの育成、ボランティア実践の場として実施。

- ①子育て中の親子のつどいの場を週3日以上運営
- ②ボランティア・子育てに関する相談、援助の実施
- ③ボランティア・地域の子育て関連情報の提供
- ④ボランティア・子育ておよび子育て支援に関する講習会等の実施
- ⑤関係機関との協力・連携

期間：2015年4月～2016年3月、2016年4月～2017年3月

入会金：一般・サポーター会員（1名）3,000円

びよか会員（1家族）1,000円

利用料金：一部講座を除き、その日の満足度でお支払いいただく募金形式





利用時間：月・水～土曜 10～16 時

月	開所日数	延べ利用者数	延べボランティア数
2015 年 10 月	26 日	446 名	53 名
11 月	21 日	124 名	45 名
12 月	21 日	334 名	43 名
2016 年 1 月	21 日	336 名	42 名
2 月	23 日	368 名	49 名
3 月	25 日	472 名	60 名
4 月	22 日	318 名	49 名
5 月	21 日	268 名	49 名
6 月	26 日	350 名	58 名
7 月	23 日	272 名	74 名
8 月	17 日	230 名	36 名
9 月	25 日	308 名	52 名
合 計	271 日	3,826 名	610 名

評 価：昨年同時期（10 月～9 月）比で開所日数の減少に伴い、利用者数、ボランティアスタッフともに減少した。ボランティアについては、区社協よりサマーボランティアを受入れたこともあり、特に夏休みの中高生による活動希望者が多かった。

②地域の子ども応援事業助成 子育て支援の新たな担い手養成事業（助成金事業）

対 象：子育て中の親子

実施内容：「子育てボランティア育成事業」子育て中の家族が講座を通して知識を習得し、実体験することで、次の世代の子育て支援につながる人材育成につなげていく。

期 間：2016 年 4 月～2017 年 3 月

開催日時	講座名	場所	参加人数
2016 年 5 月 31 日（火）	子育て応援講座(1)「子どもが”安心感”をもつために」	安楽寺会館	15 名
6 月 7 日（火）	子育て応援講座(2)「子どもの“やる気”を育てるために」	安楽寺会館	12 名
6 月 14 日（火）	子育て応援講座(3)「お母さんのための“怒りのコントロール”①」	安楽寺会館	12 名
6 月 21 日（火）	子育て応援講座(4)「お母さんのための“怒りのコントロール”②」	安楽寺会館	14 名
6 月 28 日（火）	子育て応援講座(5)「子育てを楽しむために」	安楽寺会館	13 名
9 月 27 日（火）	フォローアップ講座	瑞穂生涯学習センター	10 名





評 価：本講座で習得した内容を実際の子育ての場で活かし、少し心にゆとりができたとの意見が多くあった。また、フォローアップ講座についても、予定していた講師が来られなくなったにもかかわらず、数名の受講者の協力により、有意義な意見交換ができる場を作り上げることができた。

(8) 災害救援に関する支援、およびボランティア育成事業（定款第5条第8号）

①愛知県被災者支援センター運営

東日本大震災で愛知県に避難した方の支援のために開設された「愛知県被災者支援センター」について、他団体と協力して被災者支援の業務を行った。

実施内容：ボラみみは、センターを運営する会議体に参加し、職員をセンターに派遣して、運営にかかわっている。センターでは、被災者を支援するために情報提供の定期便発送、情報誌「あおぞら」の発行、情報提供のホームページ運営、被災者への物資の提供、交流イベントの開催、住宅情報の提供、専門家の相談会などを実施した。

期間	協働団体(会議体)
2015年4月6日～ 2016年3月31日	特定非営利活動法人レスキューストックヤード<受託団体>、特定非営利活動法人愛知ネット、特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた、コープあいち、愛知県社会福祉協議会、愛知県
2016年4月1日～ 2017年3月31日	特定非営利活動法人レスキューストックヤード<受託団体>、特定非営利活動法人愛知ネット、コープあいち、愛知県社会福祉協議会、愛知県

評 価：約400世帯、約1,000名の避難者へさまざまな支援を実施することができた。

2016年4月以降については、事業途中のため、2017年度にて評価報告する。

②被災者支援つどいの広場事業

対 象：東日本大震災で愛知県に避難してきた親子

実施内容：避難者家族が親子で集える場の提供

実施年月日
2015年10月31日(土)
11月28日(日)
12月26日(日)
2016年1月30日(土)
2月27日(土)
3月26日(土)

評 価：気軽に参加できる雰囲気があり、愛知県被災者支援センタースタッフからも好評を得ている。ただし、常連のご家族が地元や遠方に引っ越されて、参加者がほぼ1組の回数が増えてきた。2016年の4月以降は事業休止中。





(9) その他（組織の基盤整備等）

①募金箱の設置（自主事業）

対 象：配布先および商店など

実施内容：募金箱の設置の依頼、募金チームおよび配達スタッフによる資金回収を実施した。

担 当：募金チーム、事務局チーム、配達スタッフ、事務局

設置箇所：52 か所（9 月 30 日現在）（昨年度 57 か所）

募 金 額：126,849 円（前年度 133,333 円）

評 価：インターンによる募金箱の設置営業や「募金箱設置強化月間」を実施した。また、募金箱設置先募集のチラシを、名古屋市内の社会福祉協議会で配布させていただくなどの取り組みも実施した。その結果、設置箇所数は5 か所増え、多くの方に募金していただくことができた。

②ニュースレター「みみ通信」編集・発行

対 象：会員、ボランティアスタッフ、「月刊ボラみみ」配布協力先

実施内容：当団体の広報、活動紹介、会計報告をすることを目的とし発行した。

発行回数：年 4 回 1 月、4 月、7 月、10 月号

仕 様：B5 判 モノクロ 8 ページ 1,000 部（前年度実績 1,000 部）

担 当：会員担当、ニュースレター担当、事務局

1 月号 (Vol.58)	・活動報告(総会報告／理事の紹介／座談会報告／交流会報告)・事業報告(協働コーディネート等事業)・活動報告(愛知淑徳大学コラボメッセ／ワールド・コラボ・フェスタ 2015／クリックするだけでボラみみに活動支援金が届けられる『gooddo(グッドウ)』)・ボラみみスタッフコラム・ボラみみスタッフインタビュー・チーム報告(9 月～11 月)・ボラみみ会計報告・ボラみみ理事会報告・代表の“ちょっと言いたい”・事務局日誌・4 コマ みみ劇場
4 月号 (Vol.59)	・2015 年度の事業報告(『ボラみみ』合冊の協働発行／「みみライン」の運営／みみラインのシステム提供／NPO アドバイザー事業／愛知県被災者支援センター事業／スマイルゆうネット情報提供／なごやつどいの広場事業／地域のこども応援事業 子育て支援の新たな担い手養成事業／第4回名古屋市イーパーツリユース PC 寄贈プログラム)・活動報告(なごやボランティア楽集会～しゃべり場・学び場・気づきの場～／「ぼらチャリ4～つながれ☆ひろがれ大作戦～」に参加しました)・ボラみみスタッフコラム・ボラみみスタッフインタビュー・チーム報告(12 月～2 月)・ボランティア体験受入報告・ボラみみ会計報告・ボラみみ理事会報告・代表の“ちょっと言いたい”・事務局日誌・4 コマ みみ劇場
7 月号 (Vol.60)	・事業報告(物資寄贈事業のご報告)・活動報告(なごやのボランティア史編纂に着手／「みみ通信」を一緒に作ってくれるメンバーを募集！)・イベント出展報告(第 25 回ウォーカソン国際チャリティーフェスティバル)・活動報告(「ぼらチャリ vol.4」協賛金の報告／「幸せの黄色いレシートキャンペーン」の報告／ボラみみ募金箱回収報告／「gooddo(グッドウ)」広告協賛金の報告)・チーム報告 SPECIAL(3 月～5 月)・ボラみみスタッフコラム・ボラみみスタッフインタビュー・ボラみみ会計報告・ボラみみ理事会報告・代表の“ちょっと言いたい”・事務局日誌・4 コマ みみ劇場
10 月号 (Vol.61)	・ボラみみより情報局総会併催イベントのご案内・活動報告(ぼらマッチ！なごや、デンソーグループハートフルまつり 2016)・インターン紹介・クラウドファンディング報告・ボラみみ募金箱設置強化月間の報告・つどいの広場「ボラみみ」の寄贈報告・ボラみみスタッフコラム・ボラみみスタッフインタビュー・チーム報告(6 月～8 月)・ボラ支隊献血表彰・ボラみみ会計報告・ボラみみ理事会報告・代表の“ちょっと言いたい”・事務局日誌・4 コマ みみ劇場

評 価：年 4 回、各 1,000 部発行し、当団体の活動内容等を紹介することができた。





③「ボラみみブログ」編集・運営

対 象：愛知県、岐阜県、三重県民

実施内容：当団体の活動を多くの人に理解してもらうことを目的に、日々の活動の紹介を中心に編集し更新する。

更 新：年間 237 回（前年度 167 回）

アクセス：10,247 件（前年度：年間 8,010 件）

担 当：事務局チーム、インターン、事務局職員

評 価：目標のアクセス件数 12,000 件は達成することができなかったが、更新頻度は目標の更新回数 120 回を大幅に達成することができた。今後はボラみみへの信頼と共感を高めることを目的とし、内容についても工夫を重ねていく。

④ボランティアスタッフの増加

対 象：ボランティアに関心のある市民

実施内容：オリエンテーションや研修会を開催して、事業に関わるスタッフを育成する。

担 当：事務局、各チーム

評 価：目標のボランティアスタッフ 120 名に対して 89 名で、目標を達成することはできなかった。

6. 会議に関する事項

(1) 総会

開催日時：2015 年 11 月 29 日（日）13 時 30 分～14 時 30 分

開催場所：愛知県スポーツ会館 大会議室（名古屋市中区名城 1-3-35）

議 題：(1) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局 2015 年度事業報告の承認
(2) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局 2015 年度活動計算書、貸借対照表、財産目録の承認
(3) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局 2016 年度事業計画の承認
(4) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局 2016 年度活動予算書の承認
(5) その他

(2) 理事会

目 的：開かれた運営を行うため、団体としての意思決定・判断の経緯と根拠を開示した。

対 象：理事、会員、スタッフ

実施内容：理事会の開催、理事会報告（スタッフメーリングリストによる報告）、理事会傍聴

実施時期：毎月 1 回（11 月を除く毎月）

担 当：理事、事務局





開催日	報告内容・決定事項
2015 年 10 月 28 日 (第 135 回)	(1) 正会員・賛助会員・プチ会員の入退会、活動会員の入退会の承認、その他 (2) 総会に向けて、その他協議 (3) 事業・事務局、各チーム、その他の報告
2015 年 12 月 9 日 (第 136 回)	(1) 正会員・賛助会員・プチ会員の入退会、活動会員の入退会の承認 (2) 理事会体制、財政、総会資料提出、その他協議 (3) 事業・事務局、各チーム、その他の報告
2016 年 1 月 27 日 (第 137 回)	(1) 活動会員の入退会の承認 (2) 理事会体制、財政、その他について協議 (3) 事業・事務局、各チーム、その他の報告
2016 年 2 月 24 日 (第 138 回)	(1) 正会員・賛助会員・プチ会員の入退会、活動会員の入退会の承認 (2) 財政(月次会計報告、資金繰り)、重点項目(会員の増加、寄付収入の増加、協働連携による物資提供事業)、その他について協議、 (3) 事業・事務局、各チーム、その他の報告
2016 年 3 月 23 日 (第 139 回)	(1) 正会員・賛助会員・プチ会員の入退会、活動会員の入退会の承認 (2) 財政(月次会計報告、資金繰り)、重点項目(会員の増加、協働連携による物資提供、協働連携によるボランティア促進事業の展開、ボランティア史作成)、その他について協議 (3) 事業・事務局、各チーム、その他の報告
2016 年 4 月 27 日 (第 140 回)	(1) 正会員・賛助会員・プチ会員の入退会、活動会員の入退会の承認 (2) 財政(月次会計報告、資金繰り)、重点項目(ぼらマッチ! なごや、ボランティア史作成、熊本地震、協働連携による物資提供)、その他について協議 (3) 事業・事務局、各チーム、その他の報告
2016 年 5 月 25 日 (第 141 回)	(1) 正会員・賛助会員・プチ会員の入退会、活動会員の入退会の承認 (2) 財政(月次会計報告、資金繰り)、重点項目(ぼらマッチ! なごや、ボランティア史作成、協働連携による物資提供)、その他について協議 (3) 事業・事務局、各チームの報告
2016 年 6 月 22 日 (第 142 回)	(1) 正会員・賛助会員・プチ会員の入退会、活動会員の入退会の承認 (2) 財政(月次会計報告、資金繰り)、重点項目(ぼらマッチ! なごや、ボランティア史作成、協働連携による物資提供)、その他について協議 (3) 事業・事務局、各チームの報告
2016 年 7 月 27 日 (第 143 回)	(1) 正会員・賛助会員・プチ会員の入退会、活動会員の入退会の承認 (2) 理事会日程、事業及び重点項目(総会イベント、ボランティア史作成、協働連携による物資提供)、交流イベント、その他について協議 (3) 事業・事務局、各チームの報告
2016 年 8 月 25 日 (第 144 回)	(1) 正会員・賛助会員・プチ会員の入退会、活動会員の入退会の承認 (2) 理事会日程、事業及び重点項目(総会イベント、ボランティア史作成、協働連携による物資提供事業)について協議 (3) 事業・事務局、各チーム、その他の報告
2016 年 9 月 28 日 (第 145 回)	(1) 正会員・賛助会員・プチ会員の入退会、活動会員の入退会、その他承認事項 (2) 総会(総会イベント、理事の継続確認、新任理事の推薦、事業計画書(案))、事業および重点項目(10月8日交流イベント、ボランティア史作成事業、物資寄贈事業)について協議 (3) 事業・事務局、各チーム、その他の報告

以上

